

第5学年C組 社会科学学習指導案

授業者 石田 智之
研究協力者 外池 智

1 単元名 「食料問題解決ゲーム」をつくろう！ ～これからの食料生産とわたしたち～

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

前小単元「米づくりのさかんな地いき」「水産業のさかんな地いき」の学習では、複数の地図や資料を関連付けて、国内の食料生産の工夫や役割について調べてまとめることができた。さらに、今日的な食料生産や食料問題のニュースとの関連を考えながら、興味・関心をもって学習に向かっている子どもも多く見られる。

また、ゲーミフィケーションを取り入れた学習活動については、前年度に外国語活動において「貿易ゲーム」、今年度は社会科の前小単元において経験を積んでいる。「貿易ゲーム」「米づくり農家ゲーム」では教師が作ったゲームを体験し、「水産業支援ゲーム」では教師と子どもと一緒にゲームづくりをしている。様々な社会的事象を組み合わせてゲームづくりを工夫し、意欲的に取り組む姿が見られている。

その一方で、多くの情報を的確に関連付けて説明したり、自分の生活と関連付けて考えたりする力については十分とは言えないため、多様な社会的事象に目を向けて関連付けたり比較したりして視野を広げられる子どもの姿を期待している。このような実態を踏まえ、本単元では、社会的事象の因果関係や対策等を結び付けて思考しながら、資料を的確に読み取り、根拠に基づいて自分なりの考えをもつ学習過程の工夫が必要である。

(2) 単元について

本単元における「学びのものさし」を働かせる姿を、様々な既習の事象や日々の報道を基に、食料問題の原因とそれによって起こっている現状を的確に結び付けて表現し、問題解決に向けた実際の取組を探したり可能性のある解決法を考えたりする姿であると捉える。

本単元は、主に我が国の食料自給率、食料の安定供給、食の安全・安心に着目し、文字資料や地図、日々の報道等を活用して食品ロス、食品価格高騰、後継者不足等の食料生産に関する問題と関連付けて調べ、食料問題の解決について自分なりの考えをもつことをねらいとしている。今日的に起こっている問題は多岐に渡り、興味・関心をもって意欲的に活動することが期待できる反面、問題の解決に向けた具体的な考えをもつことは大人でも難しいことなのかもしれない。しかしながら、実現可能なものかどうかはともかく、原因・現状・対策を筋の通ったものとして捉えることは、今後も身の回りの社会事象に目を向け、深く追究していく子どもの育成につながるものと考えている。

また、ゲーミフィケーションを学習活動に取り入れることにより、ゲームをつくるという手段を通して食料に関する国内外の現状に目を向けたり、食料問題に向けた対策等を調べたり考えたりして相手に正しく伝えようとする姿が期待され、主体的な学習になると考える。

これらを踏まえ、食料問題の原因とその現状、問題の解決を目指す対策を関連付けて考えることを通して、我が国の産業の発展やよりよい社会を実現していくために協力しようとする意識をもとうとする資質・能力を高めることを目指す。

(3) 指導について

研究の重点一つ目との関連から、自分の言葉で考えや提案を説明する必然性のある学習過程とするために、食料問題を解決することをイメージした学習過程を工夫する。食料問題を解決するための自分なりの考えをもつためには、それぞれの食料問題の現状を実感できる資料の提示が重要である。問題の原因や現状、当事者の心情、自分たちの生活との関連など、資料や統計等を関連付けて読み取ることを通して、課題意識をもてる学習につなげる。そして子どもたちは、複数の食料問題から特に関心をもったものを選択し、半分仮想世界の中ではあるがゲームの中で食料問題を解決していくための提案ができるような学習過程とする。

研究の重点二つ目との関連から、論理的に説明する力を高めるために、お互いの考えについて情報交換する場を設ける。食料問題の解決に向けた提案は、ややもすると絵空事になることも考えられるが、子どもたち同士でその提案は妥当かどうか、どんな資料や事例を基に考えているのか（根拠）、どの程度具体的に考えられているのか等、ゲームの中で説得力のある提案になっていくよう繰り返し見直し、修正する場を設ける。また、互いのつくったゲームを体験し合うことは、それ自身が情報交換となり、他者の考えに触れる機会ともなる。

3 単元の見直し（記号は本校の資質・能力表による）

(1) 食料自給率や食料の安定供給、食の安全・安心などについて調べることを通して、日本の食料生産には問題点があることや、世界とのつながりの中で解決していかなければならないことを理解することができる。 (136・710)

(2) 食料生産について学習してきたことを総合して食料生産の課題について考え、学習したことを基に、消費者や生産者の立場、国内と国外の立場などから多角的に捉えながら、これからの食料生産の在り方について考えている。 (136・71・78)

(3) 食料問題の原因とその現状、問題の解決を目指す対策を関連付けて考えることを通して、我が国の産業の発展やよりよい社会を実現していくために協力しようとする意識をもとうとする。 (136・73)

4 単元の構想（総時数8時間）

くらしを支える食料生産・米づくりのさかんな地いき・水産業のさかんな地いき
我が国の農業や水産業における食料生産について調べ、食料生産が自然条件や生産者の工夫を生かして営まれ、国民生活に果たす重要な役割を担っていることについて考える。

本単元

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価〈本校の資質・能力との関連〉
1	(1) 日本の食料生産をめぐる問題の概要を知り、各家庭での食料に対する不安や困ったことを予想し、話し合う。→各家庭での調査	・既習の問題点を確かめながら、食料問題に関する写真や統計等の資料を示し、問題意識を高める。	・日本の食料問題の概要について資料から読み取り、学習の見通しをもっている。〈71〉
2	(2) 各家庭での不安等を出し合い、学習問題をつくる。 ・自分の家でも食について不安なことがいろいろあるから考えていきたい。	・子どもたちが調べてきた各家庭での不安等を集約し、学習問題づくりや解決に向けた調べ学習の方向性を確かめる。	・家庭での聞き取りや食料問題についての資料を基に、学習問題を考えている。〈78〉
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習問題 日本の食料生産にはどんな問題があるのか。また、これからどうすればよいのか。</p> </div>			
3 4 5	(3) 「食料自給率」「食料の安定供給」「食の安全・安心」について調べたことを基に話し合う。 ・毎日食べているものなのに、いろいろな問題があるんだな。 ・いろいろな問題を解決する方法はないのだろうか。	・問題解決のために必要な情報を収集することができるように、活用できる資料を確かめたり、図書資料を準備したりする。 ・食料問題の全体像が分かるように、原因・現状・対策を区別し、整理してまとめることができる活動を取り入れる。	・資料から情報を集め、食料問題の原因、現状、対策について、ノートやタブレット端末に整理している。〈36・710〉
6	(4) 学習問題について、自分の考えをまとめる。 ・起きている問題は大きいけど、自分でできることから少しでも解決に向かえるよう努力したい。	・様々な食料問題を知った今、自分はどうすべきかを考え、交流できる場をもつ。 ・自他の考えを参考にしながら、「食料問題解決ゲーム」のイベントのアイデアを考えられるように、ゲームのシステムを伝える。	・これからの食料生産について自分なりにまとめている。〈36・73〉
7 本時	(5) 「食料問題解決ゲーム」のイベントのアイデアを出し合い、比較・検討してゲームづくりをする。 ・見直しポイントを基にしてゲームが盛り上がるイベントをつくりたいな。 ・少しでも食料問題の解決につながるようなものにしたい。	・「食料問題解決ゲーム」のイベントのアイデアを見直すポイントを話し合う場をもつ。 ・見直しポイントに基づいて自分のアイデアを改善し、友達とイベントを出し合いながら検討するための情報交換を促す。	・食料問題の原因、現状、対策について関連付けて考え、自分のゲームをつくっている。〈36〉
8	(6) 自分の「食料問題解決ゲーム」に改善を加えながら友達とゲームを楽しむ。 ・更に改善しながら、友達とゲームを楽しみたい。 ・そんな問題も起こっているのか。どうしたいのかなあ。	・改善をしながら楽しくゲームが進むように、グループ変更や新しいルールの試行ができるようゲームの場づくりをする。	・ゲームを楽しみながら、これからの食料生産やよりよい社会の実現のために協力しようとしている。〈73〉

◎本単元で育む主な資質・能力

食料問題の原因とその現状、問題の解決を目指す対策を関連付けて考えることを通して、我が国の産業の発展やよりよい社会を実現していくために協力しようとする意識をもとうとする。〈73〉

わたしたちの生活と工業生産

我が国の工業生産が国民生活に果たす役割や工業生産に関わる人々の働き、貿易や運輸の役割について調べたり、貿易や工業生産についての課題を把握してその解決に向けて考えたりする。

5 本時の実際（7／8）

(1) ねらい 食料問題の原因や現状、今日行われている対策等に着目し、それらを関連付けて「食料問題解決ゲーム」のイベントをつくる活動を通して、これからの食料生産についての自分の考えを表現することができる。 (136)

(2) 展開

○「学びのものさし」を働かせて省察したり、自律的に学習を進めたりするための支援

時間	学習活動	教師の支援 評価
3分	<p>① 前時までの学習を振り返り、学習の流れを確かめる。</p> <p><予想される子どもの反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームが盛り上がるイベントを考えてるよ。 ・もう少し有効な対策を考えたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが作成しているイベントをいくつか取り上げ、ゲームの中で精度を更に高めていくことを意識付ける。
12分	<p>② イベント案の例を基に、自分のイベントのアイデアを見直すポイントについて話し合い、本時のめあてをもつ。(全体)</p> <p><予想される子どもの反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもしろいイベントだけど、それはさすがに実際起きないと思うな。 ・「異常気象」って、例えばどんなことが起きているのかが分かると原因がはっきりしそう。付け足してみたらどうだろう。 ・その対策で本当に解決に向かうのかなあ。 ・「国」として生産者を支援したらいいんじゃないかなあ。え？海外支援？いろんな考えがあるな。 ・秋頃のイベントは夏のイベントの後にあった方が自然だと思うよ。 	<p>○どんな見直しを図っていくべきか具体的に話し合えるよう、いくつかの不完全なイベント案を示し、自分のイベント案を見直すポイントに気付けるようにする。</p> <p><見直しのポイント></p> <ol style="list-style-type: none"> ①食料問題の理解として正しいのか（架空の事象だとしても、起こり得る事象か）。 ②原因と現状が適切に結び付いているか。 ③どんな対策があるのか。対策によってどんな効果があるのか。 ④ゲーム上の「国」はどんな理由でどんな支援をすべきか。 ⑤そのイベントの登場のタイミングはいつか（時系列や重要度の判断）。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>— めあて —</p> <p>ポイントを生かして「食料問題解決ゲーム」のイベントを見直そう。</p> </div>		
25分	<p>③ 自分のイベント案を見直し、ゲームづくりを進める。(ペア⇄グループ)</p> <p><予想される子どもの反応></p> <p>【社会的事象の理解として正確ではない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料自給率を上げるには食料の輸入を制限すればよいのでは？ ・小麦や大豆の値段が上がっているのは戦争が起きていることだけのせいだ。 <p>【原因、現状、対策の関連付けが弱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この対策はどういう意味があって行われているのかよく分からないなあ。 ・この現状の原因は別なんじゃないか？ <p>【現実の対策を基に、自分の考えを表現している】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内の生産者への支援を行っている。さらに運ぶ人や売る人への支援も必要ではないかな。 ・世界的には人口が増えている。このままではいけないから、国内の支援に力を入れるべきだ。いや、海外の支援によって日本にも効果があるに違いない。 	<p>○ペアでのイベントづくりの中で、見直すポイントに照らして迷いや困難が生じたときは、グループ内や似たイベントを考えている友達同士での情報交換をしてもよいことを助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・似たイベントでも対策や支援に違いがあることを紹介し、食料問題への考え方は様々であることを確かめる。 ・グループ内で小さな議論が起きている場合には全体で取り上げ、根拠や類似事例を示すことによって相手が納得できることを確かめる。
5分	<p>④ 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次は友達を自分たちのつくったゲームで楽しませたい！ ・もう少しイベントの内容に工夫があるとよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は改善しながらゲームを行うことを伝え、今日の活動を振り返る時間をもつ。

食料問題の原因・現状・対策について関連付け、自分の考えをゲームイベントの中で表現している。
(136) (スライド、発言)

令和6年度 社会科実践・研究計画

部 員	○石田 智之、鈴木 聡
-----	-------------

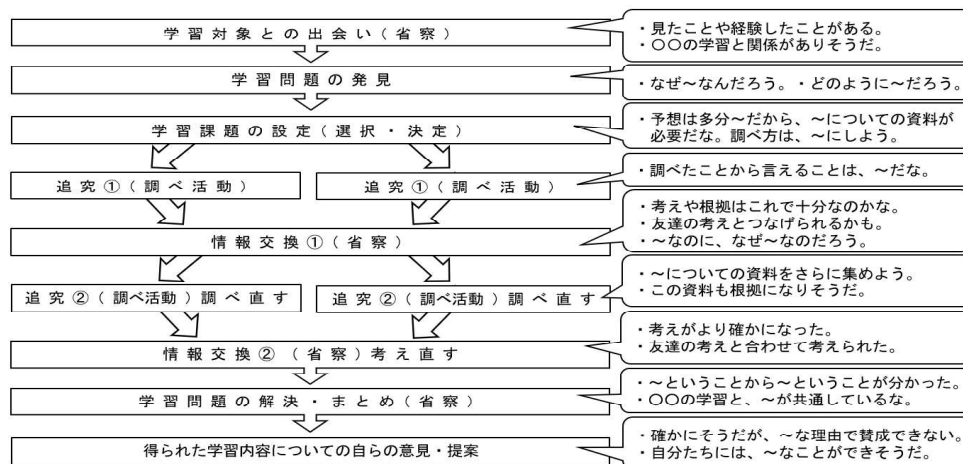
研究テーマ
自らの学習状況を見つめながら、主体的・協働的に学習問題の解決に取り組む子どもを育む学び

1 研究テーマについて

社会科では、社会的事象について捉え直すことを通して、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする子どもを育むことが重要である。主体的・協働的に学習問題の解決に取り組むとは、社会的事象の追究を自分ごととし、自分にできることを考えたり、自分の意見を決めたりすることである。そのために、社会的事象について複数の立場や意見を踏まえ、多角的に考察し、広い視野で捉える必要がある。さらに、社会的事象は多様な解釈ができるため、仲間と協働的に問題解決に取り組むことを通して、自らの学習状況を見つめ、自分の考えを発展させようとする姿を引き出すことが期待できる。昨年度までの実践において、資料を基に考えをもち、仲間との情報交換を通して社会的事象について深く考察する姿を引き出すことができた。しかし、社会的事象について話し合いで得た視点も踏まえて関連付けて考える力。また、社会的事象について自分なりの意見や提案を吟味する力を高めることが課題として残った。そこで今年度は、学習問題解決に向けて、自分の意見を表明したり自分なりに提案したりしていく力を高める学習過程にするための手立てを重点として実践・研究を進めていく。社会的事象について広い視野から捉えられるよう、価値ある資料提示や効果的な情報交換の場を設定し、更なる「学びのものさし」の活用を目指す。このことにより、社会的事象を多角的に考察し、広い視野から捉えるために「学びのものさし」が確かになり、よりよい社会を考え主体的に問題解決する姿につながると考える。

社会科で目指す自律した子どもの姿

- ・学習問題の解決に向けて見通しをもち、自らの学習状況を見つめ、調べ直したり考え直したりしながら社会的事象を追究している姿。
- ・社会的事象の特色や相互の関連、意味について、根拠や理由を明確にしてまとめ、自分なりの意見や提案を説明している姿。



図：社会科 自律した学習者を育てる学習のプロセス

2 研究の重点〈○は具体的な取組の例〉

自分の考えや提案を練り上げていく力を高めるための学びのデザイン

- 社会的事象について、多角的に考察し、自分の考えや意見を定めるための手立て
 - ・複数の資料や日常生活につながる事象等、価値ある問いを促す資料提示をする。
 - ・まとめを基に、問題の解決や自らの生活への活用を意識した、自分なりの考えや提案を述べる場面を設定する。
- 必要感のある省察につながる情報交換の場を設定する。
 - ・互いの考えのずれや曖昧さを情報交換によって焦点化し、全体で共有する。
 - ・収集した資料や考える技法を活用した情報交換とする。

令和6年度「社会科の資質・能力」表

※□は、資質・能力の取り扱い学年、■は、定着学年を示す。

内容		学習指導要領との関連内容	3年	4年	5年	6年	
社会科の学びに向かう力、人間性等	ア1	社会的事象について主体的に問題解決し、社会的事象の特色や相互の関連、意味などを考えようとする。	3年(2)、(3)、4年(2)、(3)、5年(2)、(3)、(4)、(5)、6年(1)、(3)	□	■	■	■
	ア2	社会的事象について主体的に問題解決し、地域社会の一員としての自覚をもとうとする。	3年(1)、(2)、(3)、(4)、4年(1)、(2)、(3)、(4)、(5)	□	■	■	■
	ア3	社会的事象について主体的に問題解決することを通して、我が国の産業の発展やよりよい社会を実現していくために協力しようとする意識をもとうとする。	5年(2)、(3)、(4)、(5)、6年(1)、(3)			□	■
	ア4	社会的事象について主体的に問題解決することを通して、我が国の歴史や伝統を大切に、世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚をもとうとする。	6年(2)、(3)			□	■
	ア5	生活経験や資料、日常的な情報(図書、新聞、テレビ等)、体験的な活動の中から、疑問や追究したいことを発見しようとする。	3年(2)、(3)、4年(4)、(5)、5年(4)、6年(1)、(3)	□	■	■	■
	ア6	社会的事象にかかわる追究活動や学習成果を共有することを通して、新たな疑問や追究課題を見つけようとする。	4年(2)、(3)、5年(2)、(3)、(4)、(5)、6年(3)		□	■	■
	ア7	自分や仲間の問題意識を大切にしながら、社会的な事象の追究にかかわる学習問題を設定しようとする。	3年(1)～(4)、4年(1)～(5)、5年(1)～(5)、6年(1)～(3)	□	■	■	■
	ア8	予想に基づいて自分なりの学習問題を設定し、解決する方法を考えようとする。	4年(1)～(5)、5年(1)～(5)、6年(1)～(3)		□	■	■
	ア9	学習課題や対象となる社会的事象に応じた調べ学習の手段(図書資料、インターネット、訪問やインタビュー等)を選択して、学習計画を立てようとする。	3年(2)～(4)、4年(2)～(5)、5年(2)～(5)、6年(1)～(3)	□	■	■	■
	ア10	追究の目的に応じた資料(実物や写真、地図・統計資料など)を集めようとする。	3年(1)～(4)、4年(1)～(5)、5年(1)～(5)、6年(1)～(3)	□	■	■	■
	ア11	社会の様子や仕組みについて調べたことを、過程や結果を工夫し、情報交換に応じた適切な方法(図、表、イラスト、白地図、年表、グラフ等)を選択しながら表現しようとする。	3年(4)、4年(2)、(3)、(4)、(5)、5年(2)、(3)、(4)、(5)、6年(2)、(3)	□	■	■	■

社会科の各領域の付けたい力 地理的環境と人々の生活	イ1	身近な地域や自分たちの市の様子を観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめる。	3年(1)、(4)	□	■	■	■
	イ2	都道府県内における市の位置、市の地形や土地利用、交通の広がり、市役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して、身近な地域や市の様子をとらえ、場所による違いを考え、表現する。	3年(1)	□	■	■	■
	イ3	地域に見られる生産や販売の仕事について見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめる。	3年(2)	□	■	■	■
	イ5	我が国における自分たちの県の位置、県全体の地形や主な産業の分布、交通網や主な都市の位置などに着目して県の様子をとらえ、地理的環境の特色を考え、表現する。	4年(1)		□	■	■
	イ6	県内の特色ある地域について地図帳や各種の資料で調べ、白地図などにまとめる。	4年(5)		□	■	■
	イ7	特色ある地域の位置や自然環境、人々の活動や産業の歴史的背景、人々の協力関係などに着目して、地域の様子をとらえ、それらの特色を考え、表現する。	4年(5)		□	■	■
	イ8	我が国の国土の位置、地形や気候の概要、気候条件から見た特色ある地域の人々の生活をとらえ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考える。	5年(1)			□	■

	イ9	自然災害や公害の発生位置、森林の広がりなどを調べ、白地図にまとめる。	5年(5)			<input type="checkbox"/>	■
	イ10	教科書や地図帳に載っている主な地図記号を概ねとらえる。	3年(1)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ11	地図帳や地球儀から情報を読み取り、活用する。	3年(1), (4), 4年(1), (5), 5年(1), (2), (3), (5), 6年(2), (3)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ12	都道府県名とその位置を概ねとらえる。	4年(1), 5年(1), (2), (3), (5)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ13	地図帳に載っている世界の主な国名とその位置を概ねとらえる。	5年(1), 6年(3)			<input type="checkbox"/>	■
社会科の各領域の付けたい力 歴史と人々の生活	イ14	市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことをとらえる。	3年(4)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ15	市の様子の移り変わりについて、聞き取り調査をしたり地図などの資料を調べたりして、年表などにまとめる。	3年(4)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ16	交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子をとらえ、それらの変化を考え表現する。	3年(4)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ17	自然災害から人々を守る活動について、聞き取り調査をしたり地図や年表などの資料で調べたりしてまとめる。	4年(3)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ18	県内の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることをとらえる。	4年(4)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ19	地域の発展に尽くした先人は、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことをとらえる。	4年(4)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ20	県内の伝統や文化、先人の働きについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめる。	4年(4)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ21	歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、県内の文化財や年中行事の様子をとらえ、人々の願いや努力を考え、表現する。	4年(4)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ22	当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、地域の発展に尽くした先人の具体的な事例をとらえ、先人の働きを考え表現する。	4年(4)		<input type="checkbox"/>	■	■
	イ23	年表を読み取り、活用する。	3年(4), 4年(4), 6年(2)	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	イ24	教科書に登場する歴史人物の業績をとらえる。	6年(2)				■
	イ25	我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産、遺跡や文化財などをとらえ、歴史を学ぶ意味を考えたり、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて表現したりする。	6年(2)				■

社会科の各領域の付けたい力 現代社会の仕組みや働きと人々の生活	イ26	生産の仕事は、地域の人々の生活と密接に関わりをもっていることをとらえる。	3年(2)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ27	仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、地域の人々の生活との関連を考え、表現する。	3年(2)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ28	販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることをとらえる。	3年(2)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ29	消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子をとらえ、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現する。	3年(2)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ30	消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることをとらえる。	3年(3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ31	地域の安全を守る働きについて施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動をとらえ、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現する。	3年(3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ32	飲料水、電気、ガスを供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることをとらえる。	4年(2)		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ33	廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることをとらえる。	4年(2)		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ34	地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることをとらえる。	4年(3)		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ35	過去に発生した地域の自然災害、関係機関の協力などに着目して、災害から人々を守る活動をとらえ、その働きを考え、表現する。	4年(3)		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ36	我が国の農業や水産業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考える。	5年(2)			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ37	我が国の工業生産が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える。	5年(3)			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ38	我が国の放送、新聞などの産業は、国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることをとらえる。	5年(4)			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	イ39	我が国の国土の自然環境と自然災害への対応、森林資源の保護、公害の防止に見られる人々の生活や産業との関連を考え、表現する。	5年(5)			<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
イ40	我が国の政治の働きについて、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることをとらえる。	6年(1)				<input checked="" type="checkbox"/>	
イ41	世界の中の日本の役割について、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であること、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることをとらえる。	6年(3)				<input checked="" type="checkbox"/>	

〈社会科の学びを支える「見方・考え方」〉

a 社会的事象を位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係に着目してとらえ、比較・分類したり、総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりして考える。

〈領域の学びを深める「見方・考え方」〉

地理的環境と人々の生活

b 位置や空間的な広がりや視点を着目して、地理的な社会的事象をとらえる。

歴史と人々の生活

c 時期や時間的な経過の視点を着目して、歴史的な社会的事象をとらえる。

現代社会の仕組みや働きと人々の生活

d 社会的事象と人々との相互関係の視点を着目して、身のまわりで起こる社会的な出来事をとらえる。